

# 東木ひさよ ニコニコ通信 第11号

H25年12月藤沢市議会定例議会の報告です。9回目の一般質問で「総合力でいのちとくらしを守るふじさわづくり」をテーマに質問しました。

藤沢市議会議員  
東木ひさよ  
TEL88-1125



**「市民が気軽に相談できる窓口に！」を訴えています。**

**<生活再建につながるきめ細やかな相談が受けられます>**



今回は、税金や国民健康保険等の公費滞納から、その原因である生活全般の相談につなぐしきを取り上げました。税金等を滞納するのは、その背景に様々な経済問題を抱えている場合が多いです（収入が減った、多重債務等）。

特に借金は早く弁護士に相談すると解決の道が開けますが、経済の悩みは、人には知られたくないもの。また、その後の生活の立て直しがもっと大切です。「滞納」は困りごとのサインと捉えて、必要があれば、生活再建に向けての福祉や弁護士相談等にご案内する、きめ細やかに対応するしくみづくりを提案しました。税金・保険料・保育料等公費を扱う市役所各担当課の納付相談等の共通ルールと連携強化を図り、積極的に実施していくことになりました。今後は窓口の一本化を訴え参ります。

※藤沢市のH24年度の市税の滞納者数は約18300人、金額は、約34億円です。「滞納整理」とは地方税法等に基づき、財産のある場合は差押処分（約1000件、約4億9千万円）財産が無い場合は滞納処分の執行停止（511件）を実施することです。

**<たくさんの窓口を回る必要がなくなりました>**



市役所には様々な相談窓口があります（※参照）。さらH25年4月から「福祉総合相談窓口」を開設。複雑な生活の悩みも一つの窓口で丸ごとお聞きして、各課が連携、解決に導けるようになりました。もともと市役所は縦割り組織で、経済、病気、介護、障がい、子ども等、各々の窓口を回らなくてはならず、大きな負担でした。お困りごと抱える方に気軽にご利用いただきたいです。

※市役所で実施中の相談窓口は、法律、外国人、交通事故、中小企業、消費生活、予約制の相談は建築紛争、分譲マンション管理、不動産等、※平成20年度から「多重債務相談窓口」を開設（横浜弁護士会と協定を締結、毎週木曜日、事前予約制）※障害者、高齢者、子育て支援等。保健所では健康・医療に関して、各担当窓口で対応中。※市税の納付相談については、平日の昼、毎週火曜日の夜間、毎月第3土曜日に窓口を開設しています。

## いきいきシニアセンター(老人福祉センター)でのミニマルシェが実現



ある方から「シニアセンター帰りにお買い物するのが大変！」との声を聽きました。そこでセンターの中に、健康にも良い新鮮野菜が購入できるミニマルシェの設置を提案しました。こぶし荘ではH24年秋から一ヶ月に一度開催。あつという間に売り切れで大好評です。なぎさ荘でもH26年1月から開催。地元の若い農家の方が作る新鮮な有機野菜が並んでいます。

## 活動アラカルト

### 「ボランティアセンターむつあい」を視察

H25年6月にオープン。高齢者、障害者家族・子育て中の方の家事・生活支援対応しています。一人暮らしでちょっと助けてほしい…そんな時、助かりますね。また、ひきこもっていた方が、ボランティアの訪問が嬉しくて、外に出るようになった例も。地域での支えあいは皆が元気になる「豊かなコミュニティの鍵」です。現場で尽くして下さるスタッフの皆様に感謝です！



### 片田教授(群馬大学教授・釜石の軌跡で有名)の講演会

災害に備える主体性を育む『姿勢の防災教育』を熱く語られました。脅かしや知識だけでもない、行政に依存するのではなく「自分のいのちは自分で守る。いざという時、率先して避難すること。その姿を見て、周囲の人も避難し、結果的に多くの人を救う』…釜石の子どもたちはこの教え通りに実行しました。この防災に対する姿勢や理念を、藤沢の子どもたち、そして地域社会に広げていきたいと思いました。

### 「湘南ロボットケアセンター」がオープン！



ロボットが一段と身近になりました！NHKの番組でも紹介されていた、筑波大学で研究・開発された「ロボットスーツ HAL 福祉用」の事業所が市内にオープン。加齢や脳血管疾患によるマヒ等、歩行困難になった方が、HALを装着してのリハビリで効果が表れています。トレーニングスタジオも併設。今後リハビリ特化型デイサービス事業を目指しているそうです。法整備が進み、希望者皆が利用できますように！

